

\ 高槻赤十字病院の最新情報をお届け! /

地域医療連携だより

vol. **83**
2021年5月発行

TOPICS

高槻日赤の外来化学療法

- 1 外来化学療法について
- 2 外来化学療法に関わる4つの医療職



主は 化学療法に関わる 4つの医療職

薬剤師

レジメンの管理、抗がん剤の調製、患者さんへの抗がん剤治療の指導を行っています。副作用の評価や患者さんに合わせた薬の副作用対策を行えるよう他職種と連携し、治療が継続できるよう支援しています。



医師

各診療部で患者カンファレンスを行いながら治療方針を決定し、主治医制を取り日々診療をしています。患者の病状に応じて、治療方針を分かりやすく説明し、副作用のフォローアップを行っています。また緊急時には救急外来とも連携・協力しています。



栄養士

令和2年12月から外来化学療法実施患者さんに対して管理栄養士によるベッドサイドでの栄養指導を行っています。個々の症状に沿って食事内容や食べ方の工夫をお伝えし、必要に応じて補助食品紹介や継続的な指導も行っています。管理栄養士が訪問しますので栄養・食事に気になることがあれば気軽に相談ください。患者さんが治療に向きに取り組めるお手伝いができればと願っています。



看護師

患者さんが安心して化学療法を受けられるよう、確実な投与管理と治療環境の調整を行っています。また副作用で出現する脱毛や、皮膚障害のケアなどを患者・家族に説明をしています。緩和サポートチームやストマ外来、訪問看護ステーションとも連携しより安心して治療が継続できるよう支援をしています。



【 外来化学療法概要 】

ベッド数	8床
スタッフ	専任看護師5名（うち、がん化学療法看護認定看護師1名）
対象疾患	消化器がん、肺がん、血液がん、乳がん、泌尿器がん、クローン病、関節リウマチ



写真中央は消化器外科部長 恒松医師

化学療法当日の流れ

- 1 総合受付
- 2 各診療科受付
- 3 採血などの検査
- 4 医師の診察
- 5 化学療法
- 6 会計

外来化学療法について

当院の外来化学療法室は、2008年に運営を開始しました。現在、月に230件を超える件数の化学療法を行っています。（年間2600件程度）

従来から使用されている殺細胞性の抗がん剤だけでなく、分子標的剤、近年話題となっている免疫チェックポイント阻害剤など、多様な抗がん剤を取り扱っています。

最近では、これらの抗がん剤を組み合わせて行う治療が増えてきており、外来化学療法

の件数は増加の一途をたどっています。また、それぞれの抗がん剤に特徴的な副作用があるため、その内容は多様化しています。個別性が高まっているので、主治医、看護師、薬剤師、栄養士が協力し、チームで患者を支えることを大切にしています。

そして当院は、訪問看護ステーションを併設していることで、在宅での生活や副作用に不安がある患者においては、連携し支援をしています。



高槻赤十字病院 地域医療連携課

〈 外来予約・経過照会・セカンドオピニオン・転院依頼などについての窓口です 〉

TEL 072-696-3274 (直通) / FAX 072-695-0054 (直通)

TEL 072-696-0571 (代表) / FAX 072-696-1228 (代表)

〒569-1096 大阪府高槻市阿武野1丁目1番1号

✉ renkei-jrct@takatsuki.jrc.or.jp

🌐 <https://www.takatsuki.jrc.or.jp>

地域医療連携課営業時間

平日 8:40 ~ 19:00

土曜 8:40 ~ 13:00 (祝日除く)



日本赤十字社 高槻赤十字病院
Japanese Red Cross Society

